



ダイニングこたつ

取扱説明書

WSD-L975

WSD-L120

こたつの「品名」および「形名」は
天板を外し、こたつ本体上面の貼付け
ラベルをご参照ください。



ヒーターユニットは本製品専用です。

その他のテーブルには取付けないでください。

ヒーターユニット型番

DCL-250E

このたびは弊社商品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使
いください。

- ご使用前に「安全上のご注意（1～5ペー
ジ）」を必ずお読みください。
- 保証書は裏表紙についています。「お買い上
げ日・販売店名」などの記入を確かめ、大
切に保管してください。
- この商品は日本国内専用で、海外ではご使
用いただけません。
This appliance is designed for domestic use in Japan
only and cannot be used in any other country.
- 取扱説明書のイラストと実際の製品の形状
が異なる場合があります。

もくじ

ご 使用 前 に

安全上のご注意 ····· 1～5
危険・警告・注意
各部のなまえ ····· 6～7

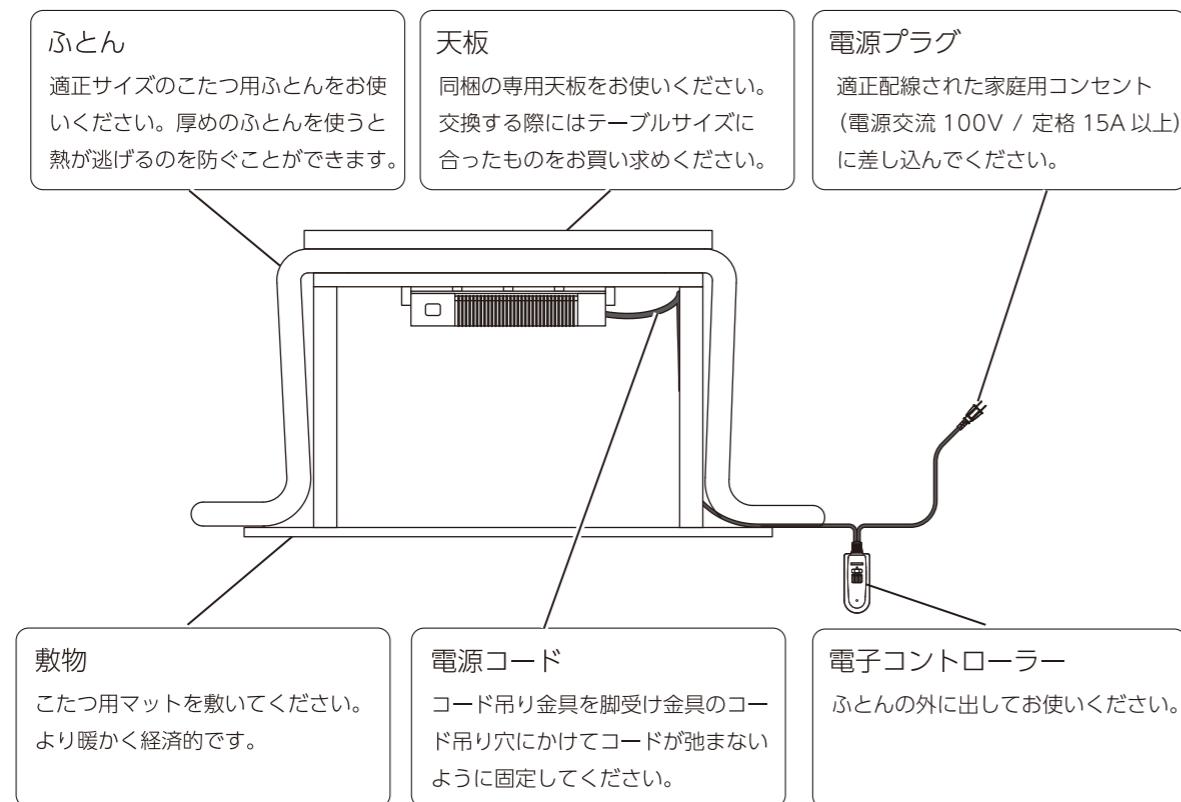
使 い 方

ご使用の準備 ····· 8～9
ご使用の順序 ····· 10
こたつの使い方 ····· 11
知っておいていただきたいこと · 12

必 要 な と き に

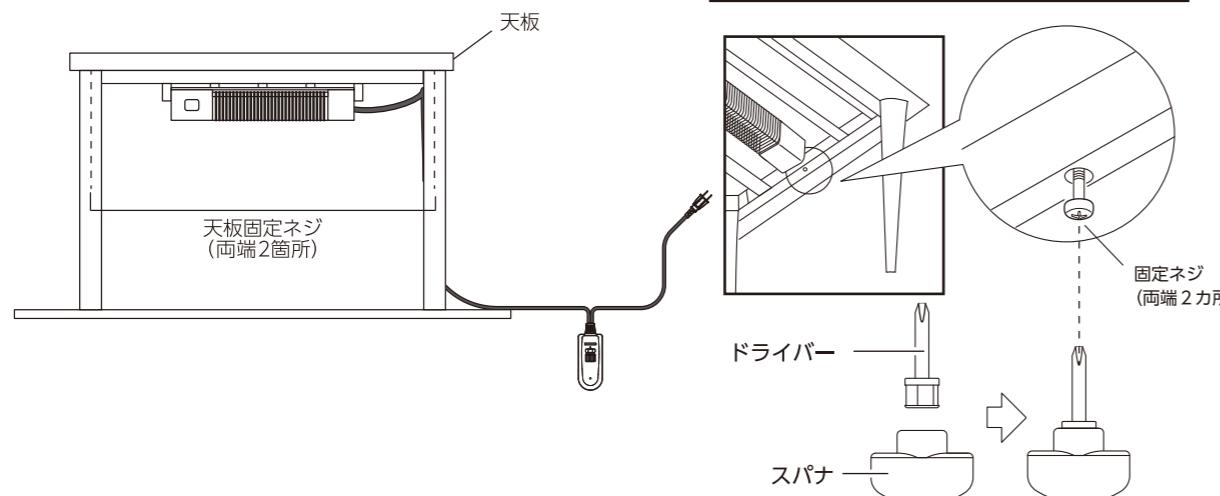
お手入れと保管の方法 ····· 13
故障かな？と思ったら ····· 13
仕様 ····· 14
保証とアフターサービス ··· 14
保証書 ····· 裏表紙

こたつの使い方



ふとんをかけずに使用する場合

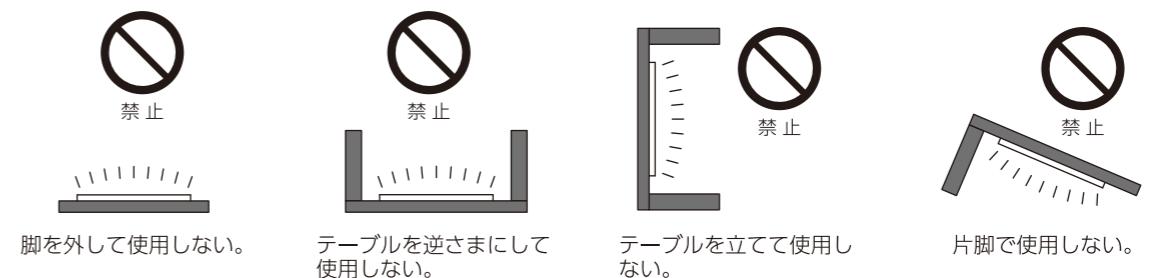
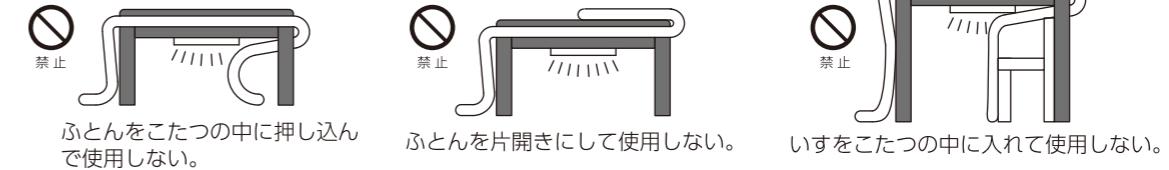
- ・布団を外してください。
- ・付属のドライバーをスパナに差し込んでください。
- ・天板のネジ穴と天板固定ネジを合わせ2箇所とも締め、天板を固定してください。



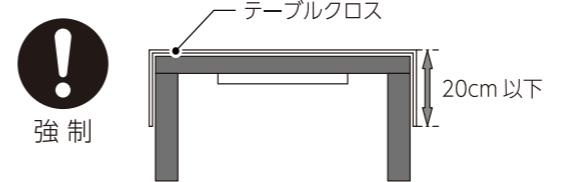
安全上のご注意 (必ずお守りください)

⚠ 警告

ふとんをこたつの中に押し込んだり、片開きで使用したり、いすをこたつの中に入れたりしたまま使用しない。ふとんがヒーターに接触し火災の原因となります。

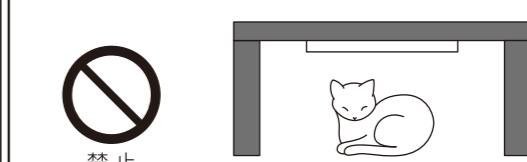


テーブルクロスの飛び出しは、20cm 以下にする。(※布団を掛けない状態で使用する場合)



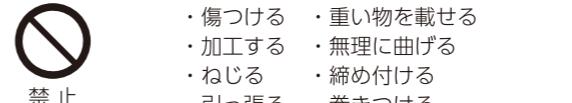
飛び出しが20cmより大きくなりますと、テーブルクロスを巻き込み、火災や故障の原因となります。

ペットをテーブルの下に入れない。



本体や電源コードを傷つけ、火災や感電、故障の原因になります。ペットの健康に悪影響を与える可能性があります。

電源コード、電源プラグ、器具用プラグ、電子コントローラーが破損するようなことはしない。



断線やショートを引き起こし、火災や感電、けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

電子コントローラーはこたつふとんの外に出して使用する。



こたつ出入りの際に引っ掛けるなどして、断線やショートを引き起こし、火災や感電、故障の原因になります。

ファンヒーターなどの熱を取り入れるダクトを使用しない。



熱風により、こたつ本体が溶融、変形する場合があり故障、火災の原因となります。

幼児の使用については、必ず保護者が付き添い、充分に注意してください。転倒によるケガの恐れがあります。



テーブルの上に乗ったり、腰掛けたり重量物を乗せたりしないでください。転倒してケガや破損の恐れがあります。

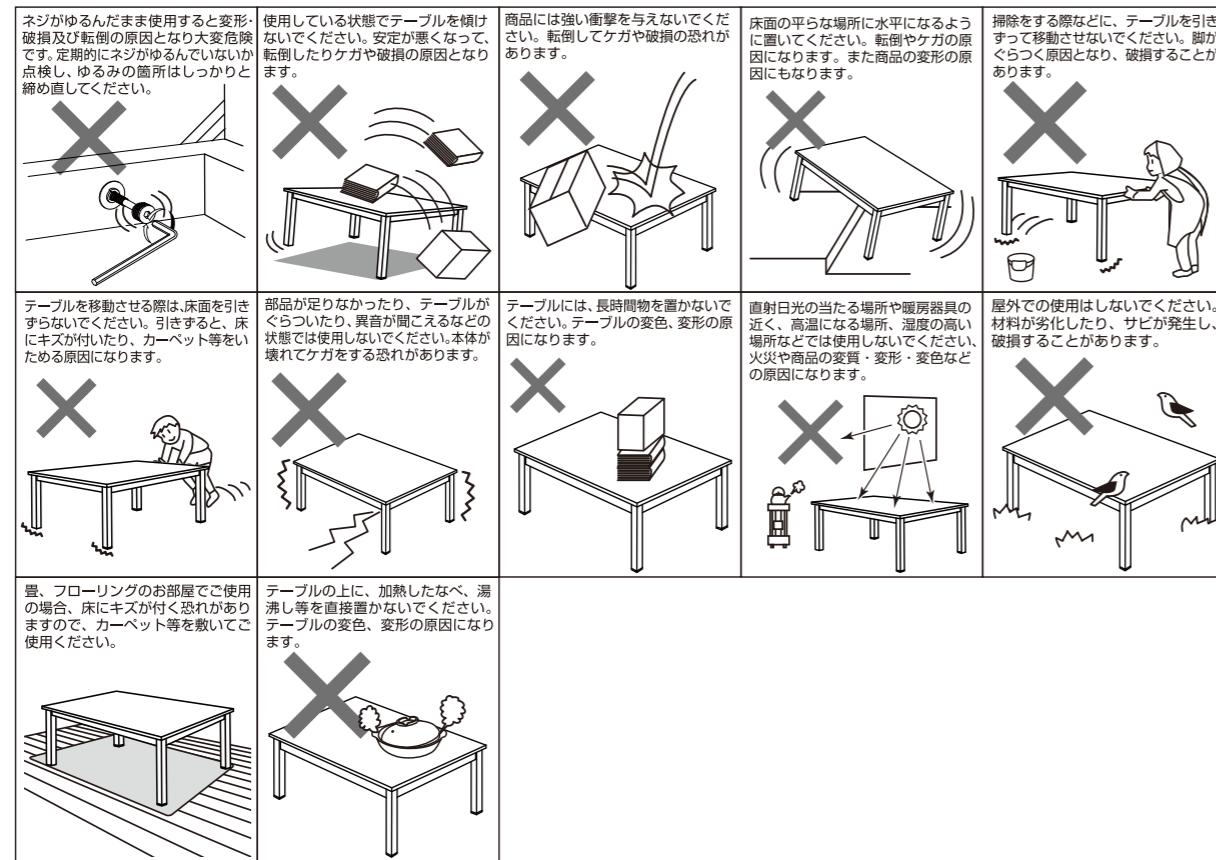


テーブルとして使う以外の目的で使用しないでください。安定が悪くなり、ケガや破損の原因になります。



安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 注意

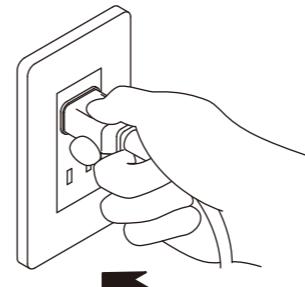


- ・こたつに強い振動や衝撃を与えない。
ヒーターが断線する恐れがあります。また製品の寿命が短くなる恐れがあります。
- ・携帯型機器をこたつに入れない。
電池が異常発熱し、やけどの原因となる恐れがあります。
- ・天板とふとんがない状態で使用しない。
温度制御に異常をきたし、やけどの原因となる恐れがあります。
- ・こたつを引きずりながら移動しない。
床面が傷つく恐れがあります。
- ・お手入れにシンナー、ベンジン、漂白剤、アルコールなどを使わない。
天板や脚が変形や変色する恐れがあります。
- ・他の暖房器具から熱を取り入れるダクトを使用する場合には注意すること。
温度制御が正常に働かなくなることがあります。
こたつ本体に直接熱風があたると、塗装が傷んだり変色や変形したりする恐れがあります。
- ・テーブルをざらついたものでこすらない。
茶わんや皿など底面がざらついたものでこすると、天板に傷がつく恐れがあります。
- ・こたつを熱に弱い床材や敷物の上で使用する場合は、断熱をする。
断熱をしないと、ヒーターからの熱によって下記の敷物や床面などは変形・変色・割れ・すき間が生じる恐れがあります。こたつ用マットを敷き、熱が直接当たらないようにしてください。
※ 熱に弱い敷物
※ 熱に弱い床材
コルクマット、ピータイル、寄せ木、天然木の床、白木床、プラスチックシート（ポリプロピレンや塩化ビニールなど）貼りの床など
※ 新しい畳の上
- ・ふとんの材質に注意する。
ご使用状況とふとんの材質によっては、ヒーターからの熱で変色することがあります。
- ・ビニールクロス等をテーブルに密着させて使用しない。
ビニールクロスが貼りつき、天板の塗装が傷んだり、変色したりする恐れがあります。
- ・天板が濡れたまま、長時間放置しない
濡れたままの布巾、濡れたカップ等を置いたままにしますと、天板が変色、変形する恐れがありますので、ご注意ください。
天板が濡れた場合は、乾いた布巾等で速やかに拭き取ってください。

ご使用の順序

1. 電源プラグをコンセントに差し込む。

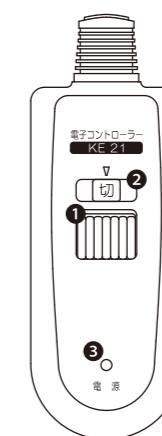
- ・電子 kontroller の目盛りが「切」であることを確認してから、電源プラグを差し込んでください。
- ・家庭用コンセントをご使用ください。



交流 100V
15A 以上

4. ご使用後や外出されるとき。

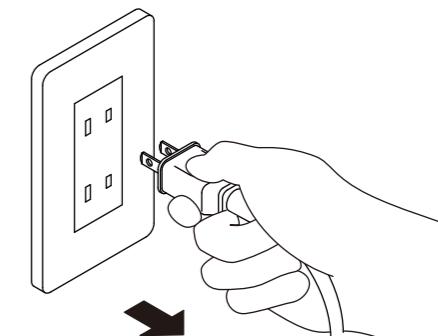
- ・温度調節ダイヤルを「カチッ」という音がするまで右に回してください。
- ・目盛りが「切」の位置に戻り、電源ランプが消えたことを確認してください。
- ・コンセントから電源プラグを抜いてください。



- ① 温度調節ダイヤルを右いっぱいまで回す。
- ② 目盛りが「切」になったことを確認する。
- ③ 電源ランプが「消えた」ことを確認する。

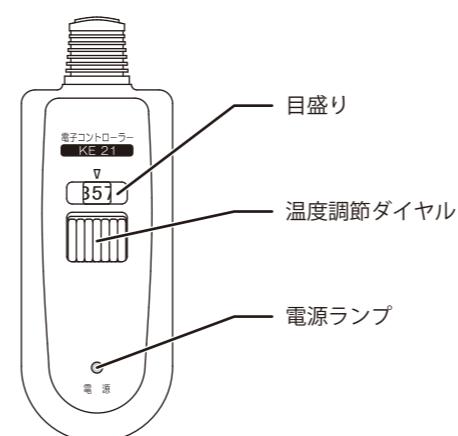
2. 電源を入れる。

- ・温度調節ダイヤルで電源の入り切りを行います。
- ・目盛りが「切」以外の位置では電源が入った状態になり、電源ランプが点灯します。



3. お好みの温度に合わせる。

- ・温度調節は温度調節ダイヤルを使います。
- ・温度調節は目盛りの「弱」から「強」まで、無段階で可能です。



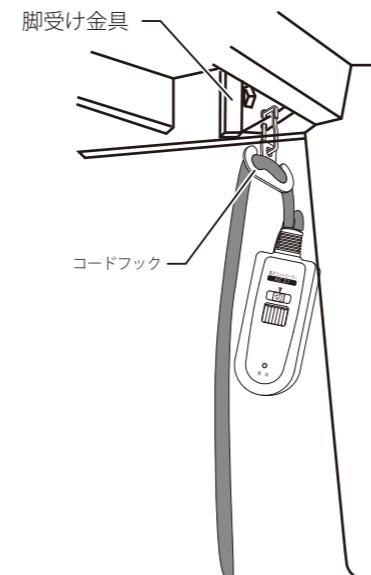
ご使用の準備

4. コードを固定する

- コードフックを吊り穴にかけてください。吊り穴はこたつ脚付近にあります。
- コードクリップがある場合はコードクリップにもかけてください。
- コードを適切な長さに調整してください。

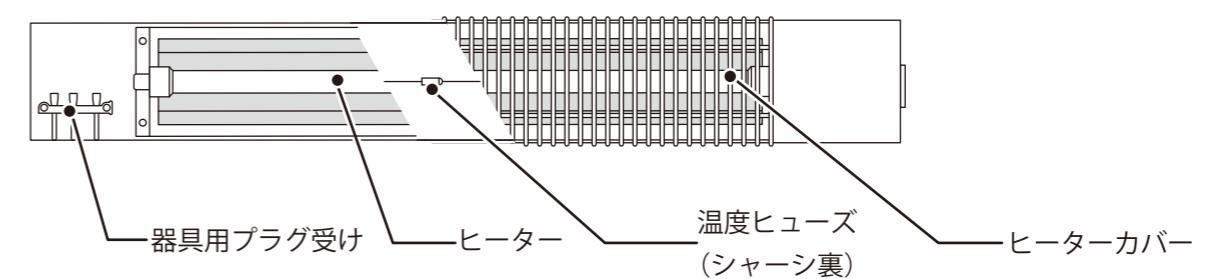
5. ふとんを掛け、天板を置く

- こたつふとんはテーブルサイズに合ったものをお買い求めください。
- 天板は同梱されているものをご使用ください。
- 電子コントローラーはふとんの外に出してください。

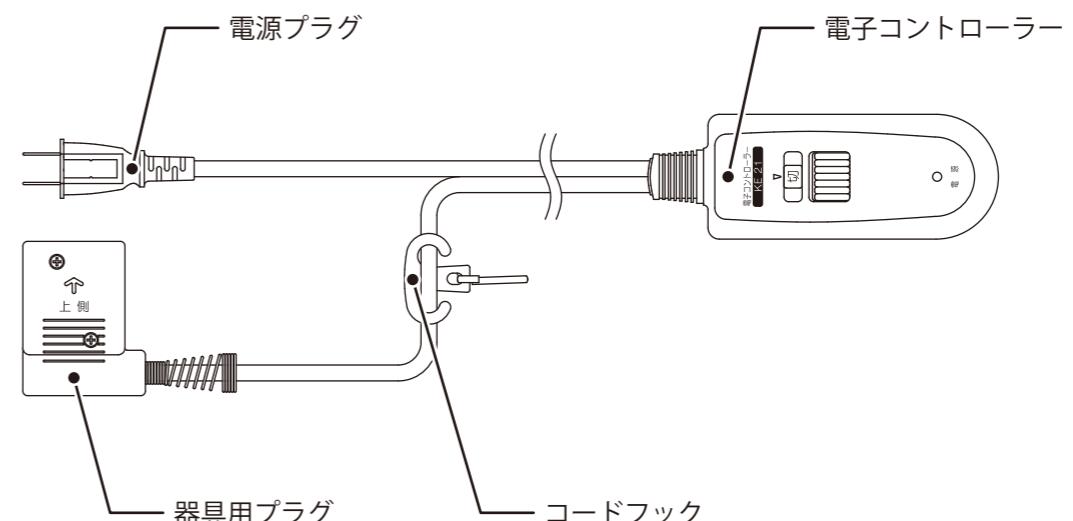


各部のなまえ

ヒーターユニット

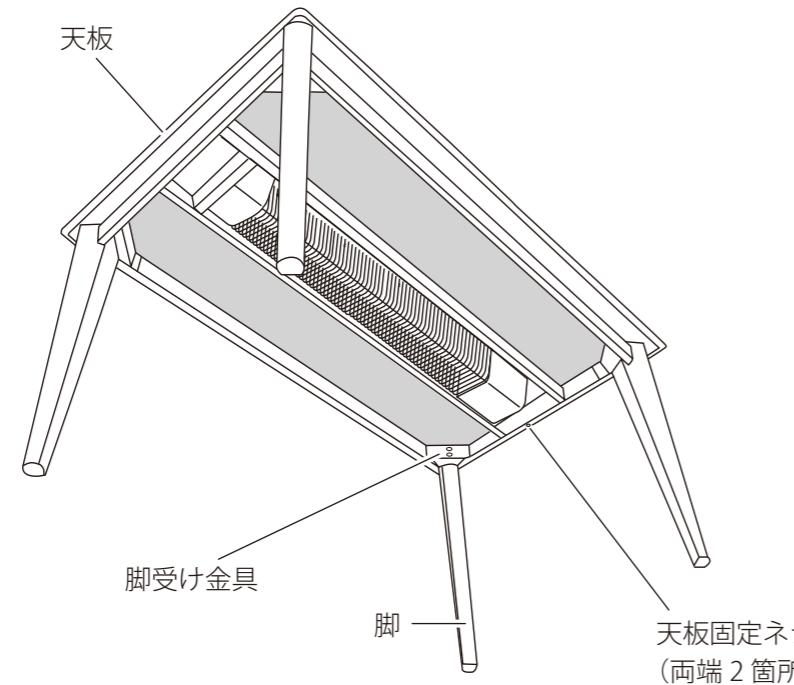


電源コード



各部のなまえ

テーブル



※ イラストと実際の商品が多少異なることがあります。

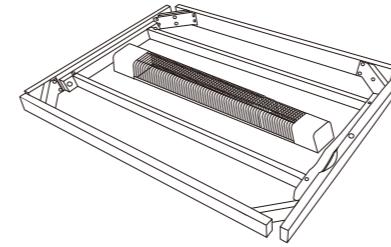
付属品

脚取り付けボルト 8本	スパナ 1個	ドライバー 1個
天板固定ネジ 2本		

ご使用の準備

1. こたつを裏返す。

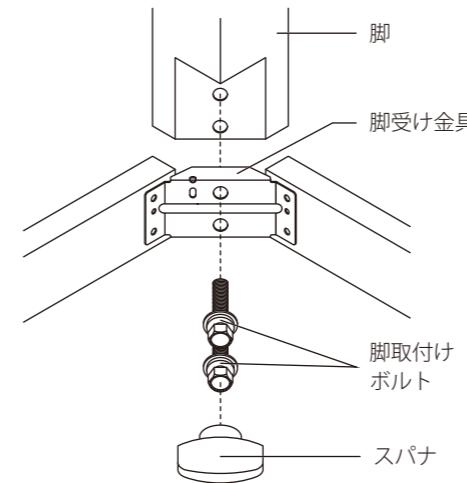
- ・水平な場所に、こたつを裏返しに置いてください。
- ・危険ですので、壁などに立て掛けの作業はしないでください。



※ ご使用時はヒーターが下向きになります。

2. 脚を取付ける。

- ・脚を脚受け金具に合わせて、脚取付けボルトを差し込んでください。
- ・脚取付けボルトを手で回し、仮止めしてください。
- ・脚取付けボルトが回らなくなるまで、スパナで締め付けてください。
- ・脚の取付けが終わったら、こたつを正しい向きにしてください。

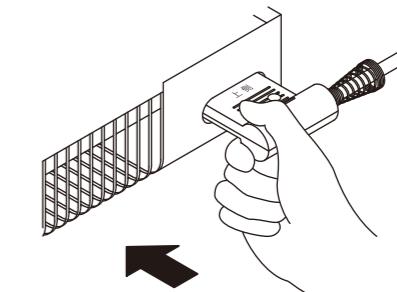


△注意

- 脚取付けボルトが途中で回らなくなった場合は、一度ボルトを外して再度締め付けてください。
脚取付けボルトを無理に締め付けると、ボルトやねじ穴の破損の原因になります。

3. 器具用プラグをヒーターユニットに差し込む

- ・電源プラグが差されていないことを確認してから、器具用プラグを差し込んでください。
- ・イラストと同じ向きに奥まで完全に差し込んでください。



△注意

- ヒーターやこたつ脚に緩みやガタツキがないか、定期的に点検してください。緩んだりガタついたりしたまま使用すると、けがや故障の原因となる恐れがあります。